

# 第二桃園川幹線その2工事

## 当工事における騒音・振動対策

村本建設株式会社 東京支店

# 当工事における騒音・振動対策

## ①ミラブロックマット(防振材)



クローラークレーン等の大型重機の作業箇所にミラブロックマットを敷き、その上で作業することで振動を抑えています。



ミラブロックマットは防振材ポリエチレンフォームを高強度塩ビ系シートで外装することで耐荷重に優れ、大型重機作業に適しています。振動は約10dBほど低減できる効果が期待されます。

# 当工事における騒音・振動対策

## ②騒音・振動計



当工事では騒音・振動計を設置し、基準を超えた騒音・振動を出さないように管理して施工しています。

### 特定・指定建設作業に係る基準

| 騒音   | 振動   |
|------|------|
| 85dB | 75dB |

### 【参考】振動レベル

| 振動レベル(dB) | 音の大きさのイメージ           |
|-----------|----------------------|
| 85dB      | 震度4 電線が揺れる           |
| 75dB      | 震度3 棚の食器が音を立てる       |
| 65dB      | 震度2 電灯などの吊り下げ物が少し揺れる |

### 【参考】騒音レベル

| 騒音レベル(dB) | 音の大きさのイメージ |
|-----------|------------|
| 90dB      | ホームのアナウンス  |
| 80dB      | 交差点        |
| 70dB      | 劇場、百貨店内    |

# 当工事における騒音・振動対策

## ③低騒音型建設機械



当工事ではクレーンやバックホウなど重機を使用する際は、低騒音型建設機械に指定されている重機を使用しています。



低騒音建設機械とは 日本では、建設機械による騒音対策として、騒音を抑制し現場周辺住民の生活環境を保全しつつ工事を円滑に進めるために、昭和51年から具体的な対策が行われています。国が定めた騒音基準に適合する機械を「低騒音型建設機械」として指定しています。